



いまいは今  
vol. 286

発行 今井町並み保存会  
発行日 令和6年4月1日  
電話 0744-22-1128  
http://www3.kcn.ne.jp/~imaicho/  
e-mail imaicho@m3.kcn.ne.jp  
◇ご意見・ご感想は  
今井景観支援センターまで

### 古い町家での生活体験

#### 今井小学校6年生

3月2日(土)9時から重文旧米谷家で、当保存会主催の標記の体験学習会を今井小学校6年生を対象に実施しました。

開催の主旨は、今井小学校を卒業する6年生に今井町の重要文化財の町家の中で、昔の生活の一部を体験しながら今井町の町屋で半日過ごして和室の清掃の仕方、座布団の裏表・前後などお客をもてなす作法や、昼食で食べる「大和今井の茶粥」を炊くカマドの火の扱いやデザートとして食べる葛餅をのせるバランスの笹舟作り、そして配膳作業や後片付けまでいろんな作業を体験しました。

参加者は6年担任の丸山、増田先生を加えて17人で3グループに分かれて交代しながら一通りの体験が出来ました。

この体験学習の歴史は古く「大和今井の茶粥」体験として平成20年3月から卒業間近の6年生向けに実施したのが始ま

りで、その後、西谷幸一郎校長先生の時代に学校行事に組み込まれましたが、2020年から3年間コロナ禍で中止のやむなきに至っていました。

今回は卒業生が57人と多いため、学校側と協議の上、当保存会が希望者を募る形での開催になりました。



全員で「大和今井の茶粥」を味わう



カマド前での火の当番



座布団を並べる



粥を椀によそう



食器の準備



茶葉 奈良漬 梅干し ごま豆腐 葛餅 茶粥

お膳の上に並んだ料理などの素材は次のとおりです。

**茶葉** 遣唐使によって渡来し、日本で最初に茶の木が植えられた大和高原の無農薬、自然栽培茶

**米** 明日香村稲淵の千枚田で獲れた棚田米

**水** 畝傍山のふもと、山本町の大師の水

**漬物** 下市町広橋の梅干し

今井町河合酒造の奈良漬

**ごま豆腐** 大峰山洞川の吉野葛で作ったごま豆腐

**デザート** 大峰山洞川の吉野葛で作った葛餅

**食器(赤膚焼)** 赤膚山元窯の登り窯で今井の駒つなぎ、軒瓦を特別に意匠して製作した茶碗・皿・箸置

**バラン(葉蘭)** 古くは食べ物をつつむのに用いられていました。笹舟にするのはおもてなしの表れです。

**膳** 柿渋染めランチョンマット

今井町河合酒造の柿渋

柿は大和の名産で古くから柿渋が清酒清澄剤、防腐剤、血圧を下げる薬、木地食器等木製品に塗布するなど、生活に取り入れられています。ランチョンマットは「大和今井の茶粥」と和紙に墨書してその上から柿渋を塗布

**箸** 吉野杉の端材を活用した吉野の割り箸で利休箸。生産量は日本一

**杓** 硬くて丈夫な五條の栗の木を匠の手でくり抜いた一品

第27回今井町並み散歩

第一回実行委員会 開催

3月17日(日)18時から今井地区公民館講堂において標記委員会を開催しました。生憎の雨模様のお天気にもかかわらず36人が出席。

開催期間は、5月11日(土)～19日(日)の9日間とし、テーマは「明日へ継ぐ、人と町並みの50年」とすることを提案。提案理由は、かつて稱念寺の故今井博道住職が有松・妻籠の方々と共に町並み保存運動の先駆けとなって現在の全国町並み保存連盟の創立につながりました。

今井町では町並み保存の活動が住民皆さんと行政によって引き継がれて昨年は重伝建選定30周年の節目を迎え、今年には全国町並み保存連盟が設立50周年を迎えます。

このように、町並みとそこに住む住民の調和のとれた保存活動は、人が継いで来たもので半世紀にわたりその営みが続いた成果が私達の目の前にある今井町の姿です。

それを明日へ継ぐのは私達の使命であるという熱い思いから「明日へ継ぐ、人と町並みの50年」は、営々と積み重ねられたこれまでの活躍をしっかりと理解把握することが大切であるという思いがあります。

町並み散歩の事業内容は、5月19日(日)の茶行列や六斎市・町衆市(18日)も)が主要なイベントになりますが、各種イベントは今後詳細を詰めて4月19日(金)の第二回実行委員会で決定する予定です。

今回も商いをされている方、各種団体様には昨年同様協賛金への協力を是非ともよろしく願います。

今井幼稚園・今井保育所 今井小学校卒業証書 授与式

修了証書 授与式に来賓として出席

3月18日(月)9時から今井小学校(山村修代校長)体育館において、第115回の卒業証書授与式が挙行されました。来賓を招いた卒業式は4年ぶり、保存会会長として私も招かれて出席しました。

当日は、寒風が吹き冷たさが身に沁みる天候でした。式典会場の設営は、体育館中央に演壇が設置され、参加者は全て中央演壇に向って、卒業生は北側、保護者は東側と西側、在校生は南側に着席しました。又、式典の進行は、30年前の自分の子供たちの時と違って、来賓挨拶は無しで紹介のみで、来賓の長い話が次々続いてうんざり

するものではありませんし、両親が揃って参加していたのも大きな変化です。子供中心による卒業生、在校生全員参加型の式典で、敵かな雰囲気の中にも規律正しく進行し、57人が元気に巣立って行きました。来賓として参加して子供達の前途を祝うのに相応しいスッキリした爽やかな式典だと感じました。

3月19日(火)は9時半から檀原市第2こども園今井幼稚園・今井保育所(人見文字園・所長)の修了証書授与式にも招かれて参加しました。式典の行われた今井幼稚園の

今井幼稚園・今井保育所の修了証書授与式



井幼稚園のゆうぎ室は、この園舎がこの地に新築移転して来た時の竣工祝賀会の席上、当時の三浦太郎市長に対してPTAを代表してお礼の

挨拶をした所ですので、一層感慨深いものがありました。今年の修了者は51人でかわい子子供達が精一杯元気を出して式典を盛り上げている様子がとても微笑ましく感じました。

(中西知記)